

支援プログラム (放課後等デイサービス)

作成日(改正日) 2026年 3月 13日

法人 (事業所) 理念		NPO法人「共に・ばくの会」は利用者本位であることを掲げ、「働く親御さんを応援する事業所」をモットーに、さらに「子どもたちが楽しく過ごせる居場所づくり」を何よりも大切なこととして運営をしております。		
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたち一人ひとりが、それぞれの好きなことを見つけ、安心して表現できる居場所づくりを目指します。</li> <li>集団での活動を通じて仲間意識が芽生えることにより、思いやりの心を育てる支援を目指します。</li> </ul>		
営業時間		平日：9時30分～17時30分 土曜日・学校短縮日：11時～17時30分 学校休業日：9時～16時30分	送迎実施の有無	あり なし
支援内容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活動作及び手段的日常動作の獲得</li> <li>健康的な生活リズムを身につけるサポート (維持・改善) 食事、排泄</li> <li>定期的な心身の把握 (毎日の観察、面談、個別活動)</li> <li>身だしなみの整え方</li> <li>食育 (菜園体験、おやつづくり)</li> </ul>		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>感覚の特性への対応 (特性に応じた感覚の導入、触覚、個有覚、前庭覚を特に意識した運動や動作)</li> <li>リズム遊び、感覚教材、散歩、季節の制作、様々な道具の使い方</li> <li>姿勢や運動、基本的・応用的動作能力の向上</li> <li>トランポリン、バランスボール、運動用具を使ったトレーニング、バリアフリーピクス、音楽療法、公園活動</li> </ul>		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>小集団での活動や遊びの中で、適切な行動・ルールを理解し習得する (認知の偏りに配慮する)</li> <li>こだわりや偏食に対応する</li> <li>空間、時間、数の概念など認知発達を促す環境設定 (スケジュールや時間の視覚化)</li> <li>プログラミング療育、パソコン練習での認知機能発達を促す</li> </ul>		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶や場面に合った言葉遣い、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得</li> <li>コミュニケーション手段の活用 (SST、発表する機会の提供、ロールプレイ)</li> </ul>		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>小集団、集団での遊びやゲームを通して人との関わり方や接し方を学ぶ</li> <li>社会体験 (買い物、公共交通機関を使用する練習等) や地域交流の場を設ける</li> <li>自己理解、他者理解への支援 (SST・社会体験・個別療育)</li> </ul>		
専門的支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度報酬改定により新設された専門的支援実施加算は、児童指導員等が専門的支援を計画的に行った場合に算定できる加算。</li> <li>個別支援計画を踏まえ、児童指導員等が専門性に基づく評価・計画に則った5領域のうち、特定 (または複数) の領域に重点を置いた支援を行うための「専門的支援実施計画」を作成し、その計画に基づき支援を行う。専門的支援の時間は30分以上を確保する。</li> <li>実施の留意点：個別での実施が基本だが、小集団 (5名程度まで) などでの実施もある。</li> </ul>		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>指導後のフィードバックや保護者面談、ご家族の方向けのトレーニングを通じてお子さまの発達状況や支援のニーズの確認</li> <li>お子さまとの関わり、兄弟に関すること等の様々な不安や困りに寄り添い、相談や助言を行う</li> </ul>	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な移行先との調整、相談援助、連携</li> <li>学校や併用利用先との情報共有</li> </ul>
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との連携</li> <li>地域交流の機会を提供することで、集団への参加、適応する能力を養う</li> </ul>	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な職員会議、ケース会議、その他会議の実施</li> <li>職員の各種勉強会や研修への参加</li> </ul>
主な行事		<ul style="list-style-type: none"> <li>法人開催の行事 (ばくの子祭り、スポーツフェス、クリスマス会等)</li> <li>外部講師による音楽療法、バリアフリーピクス 制作、レクリエーション、社会体験等の実施</li> </ul>		